

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進１－ １ 地域 連携／町 内会・自 治会加入 促進への 支援	地域力推 進課（推 進G）	転入者への情報 提供	・区役所に転入の手続きで来庁された方に対し、チラシ、リーフレットを配布して町内会活動の内容を周知するとともに町内会の加入手続きを案内します。 ・区役所１階に設置した町内会加入申込連絡ポスト「かぼっちポスト」及びメールによる町内会加入取次サービスに寄せられた町内会加入申込連絡を町内会長等へすみやかに取り次ぎます。 ・区ウェブサイト、区役所庁舎内の行政情報モニター、広報なごや区版で町内会加入の啓発を行います。	継続	通年	実施 取次件数 20件 実施	・「かぼっちFAMILY」（17学区）を作成・配布し、町内会活動の内容を周知するとともに、町内会の加入手続きを案内 ・取次件数 27件（かぼっちポスト5件、メール11件、その他11件） ・実施
施策の推 進にあ たって	推進１－ １ 地域 連携／町 内会・自 治会加入 促進への 支援	地域力推 進課（推 進G）	町内会加入促進 への支援	○区制50周年を記念して、地域住民同士の交流を図るイベント「かぼっちミーティング」を実施することにより、町内会加入促進活動の機運を高め、区と学区が連携して町内会加入率の向上を目指します。 ・区政協力委員及び町内会長に対して、区で独自に作成した町内会等加入促進チラシを配布します。 ・新規勧誘時に使用できる町内会加入案内のフォーマットを各町内会長に提供します。 ・住宅都市局の建築確認情報に基づき、新築の共同住宅に関する情報を町内会へ提供します。 ・区ウェブサイト、広報なごや区版で町内会加入の啓発を行います。 ・地域からの要望に基づき、マンションの住民説明会等において、町内会の意義、役割などについて説明します。	拡充	通年	17学区 で実施 実施 実施 実施 実施 実施	・17学区で実施 ・町内会等加入促進チラシの配布を実施（8件） ・町内会加入案内のフォーマットの提供を実施 ・新築の共同住宅に関する情報提供を実施（2件） ・区ウェブサイト、広報なごや区版での啓発を実施 ・開催無し

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進1－ 1 地域 連携／町 内会・自 治会加入 促進への 支援	地域力推 進課（推 進G）	町内会・自治会 活動への支援	○町内会活動に長く携わってこられた経験者の知見、声などを取りまとめて、区ウェブサイトや町内会加入促進チラシに掲載することにより、町内会・自治会の意義を伝えるように取り組みます。 ・区政協力委員長等による情報交換・意見交換会を開催し、学区運営における困難事例の共有を図り解決に向け知恵を出し合う機運を醸成します。 ○コミュニティ活性化相談員により、地域活動に関するお悩みをお伺いし、提案・アドバイスのほか、他の地域の取り組みをご紹介します。	拡充	随時	実施 年1回 実施	・区制50周年の節目にあたり、17学区の区政協力委員長と区長との懇談の様子を「まるごとてんばく探訪シリーズ」として区ウェブサイトに掲載 ・コミュニティ交流会開催（1月19日） ・地域活動に関する相談対応やコミサボ通信の発刊を実施
施策の推 進にあ たって	推進1－ 2 地域 連携／地 域活動・ 市民活動 への支援	地域力推 進課（企 画G）	市民活動団体と の連携	・人権尊重、男女平等参画など様々な目的で活動する市民団体と連携して催事を行うことで、区民が天白区に愛着を持ち、さらに交流の輪を広げられるよう促します。 ・区内の伝統文化等を継承する団体と連携して催事や魅力発信を行うことにより、区の特性に応じた地域の活力向上を図ります。	継続	随時	実施	・「男女平等参画推進事業・天白区人権尊重のまちづくり事業（講演と映画のひととき）」映画「大コメ騒動」、講師：愛知淑徳大学非常勤講師中島美幸氏 【開催日】令和6年12月10日（火）81名参加 ・「八事の蝶々」伝承事業講座 【開催日】令和6年11月24日（日）4名参加 ・アートDeこいのぼり 【開催日】令和6年4月20日（土）45名（14組）参加 ・風揚げ大会 【開催日】令和6年12月7日（土）37名（10組）参加

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進1－ 3 地域 連携／地 域の大学 との連 携・協力	企画経理 課	区内大学との連 携・協力	・区内に本部のある名城大学（平成26年12月18日締結）、東海学園大学（平成27年12月16日締結）及び豊田工業大学（平成30年6月21日締結）の各大学との協定に基づき、防災、福祉など多様な分野で地域の発展に寄与する事業を推進します。	拡充	通年	区に取り 組みに参 加する学 生ボラン ティアの 人数80 人以上	学生ボランティア（令和6年度） ・てんぱく子育てフェア2024 13名 ・飲酒運転根絶キャンペーン 7名 ・ダブル・オー作戦(青色防犯パトロール出発式) 8名 ・天白区クリーンウォーキング 23名 ・ツーロックキャンペーン 7名(5月…中止、11月…7名) ・11月3日（日・祝）開催の区の特性事業「区制50周年記念かぼっち健康フェスタ」のブース出展において、企画から当日運営に至る一連の事業を、区内の2大学と協働実施。 ・名城大学（有志4名） リアル謎解きゲーム ・東海学園大学（健康栄養学部） 39名（にんじんレシピコンテスト作品の試食15名、健康測定24名）
施策の推 進にあ たって	推進1－ 3 地域 連携／地 域の大学 との連 携・協力	総務課 (選挙)	若年層向け選挙 啓発	・学園祭などの大学行事の機会を利用し、学生に対し選挙啓発を行います。	継続	随時	実施	・大学学園祭で選挙啓発を実施（9月7日豊田工業大学で実施済） ※予定していた10月27日東海学園大学、11月1日名城大学での選挙啓発は衆院選・市長選の選挙準備と重なり中止。 ・成人の日記念行事における啓発品配布（1月11・12日の式典出席者に1,750部配布）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進2 区民に信 頼される 区役所づ くり	総務課	来庁者の満足度 の向上	・窓口対応力や接遇の向上、業務改善を推進するため、所属内研修や外部講師による研修を実施し、職員のスキルアップや情報交換を図ります。 ・来庁された方が安心して気持ちよく庁舎を利用できるよう、適正な庁舎管理に努めます。 ・原則毎月25日に職員による区役所周辺の清掃活動「ようこそ名古屋クリーンアップキャンペーン」を行います。	継続	通年	窓口アン ケートに おける満 足度 100%	・職員（15名）を対象に外部講師によるハードク レーム対応研修を実施（11月） ・吸収式冷温水機の不具合解消による庁舎内空調環 境の改善 ・クリーンキャンペーンを毎月実施（8月、3月除 く） ・窓口アンケート（区独自）を11月に実施（満足 いただけた割合：98.9%）
施策の推 進にあ たって	推進2 区民に信 頼される 区役所づ くり	市民課 保険年金 課	市民課及び保険 年金課における 窓口混雑情報の 発信	・待合環境の混雑緩和や市民サービスの向上 を図るため、窓口の混雑情報を発信します。 ・携帯電話等で窓口の発券機の呼び出し番号 と待ち人数を確認していただけます。（市民 課・保険年金課） ※保険年金課は令和6年度実施	拡充	通年	実施	（市民課） 令和5年2月から実施 （保険年金課） 令和6年4月から実施

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進2 区民に信 頼される 区役所づ くり	市民課 保険年金 課	オンライン化・ スマート窓口の 推進	・「行かなくてよい」「待たなくてよい」「書かなくてよい」区役所を目指した行政手続のオンライン化・スマート窓口を推進します。 （市民課）マイナンバーカードを利用した、マイナポータル（政府の運営する行政手続きのオンライン窓口）からの転出届のオンライン申請及び転入・転居届の事前作成 （保険年金課）国民健康保険料口座振替、市外転出及び社会保険加入に伴う国民健康保険資格喪失、国民健康保険限度額適用認定についてのオンライン申請	継続	通年	実施	（市民課） ・令和5年2月よりサービス開始 （保険年金課） ・令和4年10月から開始したオンライン申請について、令和6年4月から減免手続の一部、令和7年2月から高額療養費の支給申請、同年3月から資格確認書の再発行申請が新たに対象となりました。
施策の推 進にあ たって	推進2 区民に信 頼される 区役所づ くり	企画経理 課	区の独自財源の 確保	・自動販売機の設置、広告の掲出等により区独自財源を確保し、区役所庁舎の環境改善等、市民サービスの向上のために活用します。	継続	通年	実施	・行政情報モニターや自動販売機設置などの取組みにより、令和6年度においては約740万6千円の財源を確保。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	地域力推 進課(企 画G)	「天白区を住み よくする会」の 活動支援	・各学区選出の代議員で構成された「天白区 を住みよくする会」が行う活動を支援しま す。	継続	随時	実施	・要望行動(天白川の多目的川づくり) 9月3日(火)愛知県尾張建設事務所 参加者4名(要望先6名出席) ・要望行動(弥富相生山線の道路開通) 10月29日(火)名古屋市緑政土木局 参加者5名(要望先9名出席)
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	企画経理 課	天白区区民会議 の開催	・地域の課題や区の特性について協議し、区 の将来の方向性に関して意見を聴取するため 天白区区民会議を開催します。	継続	5月 2月	年2回	・区民会議総会を5月、2月に開催し、「天白区 政運営方針」「区の特性に応じたまちづくり事業」 についてご意見を聴取した。 ・区民会議分科会をワークショップ形式で開催(1 1月)し、「めざすべきまちの姿」について議論し た。
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	企画経理 課	区民アンケート の実施	・優先して取り組むべき事業や区の課題、意 識等について、区民を対象にアンケートを実 施し、区政運営に活かします。(対象者:無 作為抽出による18歳以上の男女1,500人)	継続	7月	実施	・無作為抽出の18歳以上の区民1,500名を対象に 7月にアンケートを実施(556名回答、回答率 37.1%)。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	地域力推 進課（推 進G）	学区担当制の実 施	・担当者が学区の要望に応じて、会議や行事 に参加するなど地域の課題やニーズの把握に 努めるとともに、必要な支援を行います。	継続	通年	17学区 に担当を 配置	・部課長級職員と地域力推進室を始めとする各課職 員が2名ずつ各学区の担当となり（17学区34 名）、学区連絡協議会等の会議、交通安全活動に参 加して地域の課題やニーズ等の情報収集 ・50周年記念事業を盛り上げるため、かぼっち ミーティングinコミセンの実施にあたり、学区担当 が地域との事前調整や当日運営などの支援を行っ た。
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	総務課	来庁者の皆さん のご意見・ご提 案の活用	・「明日への提案箱」や窓口アンケートによ り、来庁者の皆さんからのご意見・ご提案を より良い区役所づくりに活かします。	継続	通年	窓口アン ケートに おける満 足度 100%	・明日への提案箱 36件（3月末現在） ・窓口アンケート（区独自）を11月に実施（満足 いただけた割合：98.9%）
施策の推 進にあ たって	推進3 区民ニ ーズや地域 課題の把握	企画経理 課	天白区ポケット ブックの公表	・天白区の特長について、より身近に区民に 感じていただくため、区の地勢、人口、福祉 と健康についての基本的なデータなどをコン パクトにまとめた「天白区ポケットブック」 を作成（毎年11月頃に更新）し、区ウェブサ イトや区役所でお知らせします。	継続	通年	実施	・12月公表

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進4 区政に関 する広 報・情報 提供	地域力推 進課（企 画G）	広報なごや区版 の発行	・区民のニーズや関心に沿った読みやすい紙面を作成します。 ・紙面に掲載しきれない情報は区ウェブサイト等による発信で補完するなど、丁寧な情報提供に努めます。 ・区版トップページ紙面構成を工夫し、区で特に告知、啓発が必要な事項について、より効果的で分かり易い特集記事を編集します。	継続	通年	「行政の 情報が必要 な人に分か りやすく提 供されてい る」と感じ ている区民 の割合： 50%	「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合：42.2%（R5 39.5%）
施策の推 進にあ たって	推進4 区政に関 する広 報・情報 提供	地域力推 進課（企 画G）	ウェブ、SNS、 その他広報媒体 による情報発信	・区ウェブサイト、Instagram、フェイスブック、区役所情報コーナーに設置の広報ディスプレイを通じて区役所主催、共催行事等のPRや告知、啓発などの情報発信をタイムリーに行います。 ・市政記者クラブ加盟社・地域コミュニティ紙等へ区発信の情報を積極的に提供します。 ○10月を「わんぱくてんぱく」として、地域行事を区ウェブサイト等で発信し、地域活動を後押しします。 ○民間の地域情報誌を活用した情報発信をしていきます。	拡充	随時	「行政の 情報が必要 な人に分か りやすく提 供されてい る」と感じ ている区民 の割合： 50%	「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合：42.2%（R5 39.5%）
施策の推 進にあ たって	推進4 区政に関 する広 報・情報 提供	企画経理 課	行政情報モニ ターによる情報 提供	・区役所内1階待合スペースに設置した行政情報モニター3台により、区政情報やイベント情報等をわかりやすく提供します。	継続	通年	実施	・行政情報モニター3台を区役所1階の待合スペースに設置し、区政情報やイベント等について、情報を発信。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
施策の推 進にあ たって	推進4 区政に関 する広 報・情報 提供	保険年金 課	待合椅子カバー ポケットによる 情報発信	- 待合椅子にカバーポケットを設置し、区民への啓発チラシやポスターを配架します。 - 待合椅子カバーに、天白区の魅力を発信する二次元コード（区ウェブサイト、Instagram、フェイスブック、YouTube）を印刷し、待ち時間を利用してアクセスできるようにします。	継続	通年	実施	日曜窓口・国民健康保険に係る届出等のチラシ、散歩道「天白プロムナード」リーフレット、区制50周年に係る広報物等をカバーポケットに配架した。
1 災害への備えを強力に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	区の災害対策本部の機能を補完する南部活動拠点の実行力向上	大規模災害により区役所庁舎が被災した場合に豊田工業大学内の一部に設置する南部活動拠点の、災害支援活動を実効性のあるものにするために、豊田工業大学等と連携し訓練を実施します。	継続	随時	実施	12月19日：災害対策本部運営訓練及び南部活動拠点開設訓練実施
1 災害への備えを強力に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	区内防災関係公所（署）との連携強化	- 大規模災害発生時に公所（署）間の速やかな連携を図るため、区災害対策本部における各公所の役割分担や支援体制、区内の災害リスクの検証等について協議する場を設け、情報の共有化に努めます。 - 区の災害対策本部運営訓練において、令和4年度に締結された協定に基づき、無人航空機を用いた災害時の情報収集に関する訓練を行います。	継続	随時	実施	【実績】 5月26日：総合水防訓練 12月 8日：医療救護所訓練 12月19日：災害対策本部運営訓練 【中止】 9月 1日：総合防災訓練(台風により)

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1－1 区本部の強化	総務課 (防災) 健康安全課	医療救護所訓練の実施	・災害時に市立中学校に設置される医療救護所の開設および救護活動等の訓練を医師会と連携して実施します。	継続	下半期	実施	12月8日：医療救護所訓練（南天白中学校）
1 災害への備えを強力に進めます。	1－1 区本部の強化	総務課 (防災)	浸水・土砂災害危険箇所パトロール等の実施	・区内の防災関係公所（署）が合同で水防関連施設の現地確認を行い、水防体制についての理解を深めることで、風水害時に迅速な連携を図ります。 ・浸水や土砂災害発生リスクが高い箇所の現状把握を定期的に行うための合同パトロール等を実施し、平時からの注意喚起や発災時の広報活動などについての検証を行います。	継続	6月	実施	【実績】 6月19日：パトロール実施
1 災害への備えを強力に進めます。	1－1 区本部の強化	総務課 (防災)	職員防災研修等の実施	・災害発生時に速やかに任務に就くことができるよう、区災害対策本部の開設に必要な各種機器の立ち上げや非常用発電機の電源切り替え操作などを習得するための実践的な研修及び訓練を実施します。 ・大規模災害の発生に備え、区内の防災関係公所（署）と合同で区災害対策本部の運営について図上訓練を実施します。 ・学区ごとに避難所担当職員を定め、避難所の現地確認や地域の防災訓練への参加などを通じて、お互いに顔の見える関係を構築します。	継続	随時	実施	【実績】 5月13日・21日：非常配備説明会 6月14日：避難所担当制研修 各課毎の日程：避難所現地訪問 12月19日：図上訓練 1月16日：非常用発電に係る研修

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	地域主体の災害対策の支援	・各地域における総合的な防災訓練、避難所開設・運営訓練、避難所運営等に係る学習会などを実施する際、必要なアドバイスを行うことで、地域防災力強化の取り組みを支援します。	継続	随時	実施	【実績】 6月9日 大坪学区避難所開設訓練 6月23日 高坂学区自主防災訓練 7月17日 表山コミセン学習会 8月24日：植田学区夏まつり 9月29日 平針北学区自主防災訓練 10月6日 原学区自主防災訓練 10月6日 しまだ学区防災・避難訓練 10月20日 相生学区まちづくり委員会防災訓練 11月7日 野並小学生向け訓練補助 11月17日 植田東学区防災フェスタ // 天白学区かぼっちミーティング 2月23日 植田南学区自主防災訓練 3月2日 植田北防災春まつり 3月10日 相生学区相生自治会自主防災訓練 3月23日 高坂学区災害救助地区本部開設訓練
1 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	「助け合いの仕組みづくり」の推進	・避難行動要支援者（高齢者や障害者など災害時に助けが必要な方々）を地域で支援できるように、個別の説明会の開催により助け合いの仕組みづくりの理念の浸透を図ります。また、事業に着手した学区に対しては、進捗状況を常に把握し、個別支援計画の策定を始め、適宜適切な支援を行います。	継続	随時	実施	【実績】 8月29日 大坪学区植田山南第一町内会 名簿提供

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	「地区防災カルテ」の策定	・学区ごとに地形や災害リスクなどの地域防災に関する情報を網羅した「地区防災カルテ」の活用を推進することで、それぞれの地域特性を踏まえた住民の自主的・主体的な防災活動の活性化を図ります。 ・地区防災カルテや地域の防災活動に関する話し合いの結果を元に、地域に必要な支援を行っていきます。	継続	随時	実施	【実績】 10月11日 山根学区説明会 12月13日 山根学区話し合い 3月10日 植田北学区防災春まつり 避難行動マップ更新 平針北学区（令和6年4月） 天白学区（令和6年6月）
1 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	想定し得る最大規模（L2（※））の災害によるハザードリスクの理解促進	○総合水防訓練や総合防災訓練などの、訓練の機会を通して、L2の災害の理解が深まるよう、講習を行います。講習には天白区の全景を立体的に表現した段ボール製のジオラマ、「防災ジオラマ」を活用し、楽しく、分かりやすく参加者の方に伝わるように工夫します。 ※L2： 概ね数百年から千年に一回程度の頻度で発生し、影響が甚大な災害（レベル2） ・地域の希望により、L2の洪水時の浸水深が表示された看板を作成し、電柱等に取り付けることで、ハザードリスクの理解促進を図ります。	拡充	随時	実施	【実績】 5月26日：総合水防訓練 6月12日：天白でいぶりへの貸出（生涯学習センター講座） 8月24日：植田学区夏まつり 11月17日：天白学区かぼっちミーティング常時、庁舎内3階で展示 【中止】 9月1日：総合防災訓練（台風により） 10月27日：区民まつり（衆議院選挙により）
1 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	地域の防災リーダーの育成	・区役所と消防署が連携し、以下の2つの内容で、地域の防災リーダー育成講座を開催します。 ・地震や風水害から命を守る行動「自分の命は自分で守る（自助）及び自分達のまちは自分達で守る（共助）」についての知識、行動を身に付けるとともに、自主防災組織の活動の目的や内容を理解するための自主防災リーダー講習を、広く区民を対象として消防署が実施します。 ・避難所運営の中心となる人材育成のため、講義と実践形式による避難所リーダー養成講座を区役所が実施します。 ・避難所リーダー養成講座修了者や地域の防災担当者が情報交換を行う「防災・減災交流会」を開催します。	継続	7月 10月 1月	実施	7月16日 地域の防災リーダー育成講座 10月19日 //（2回目） 1月18日 防災・減災交流会

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	総合水防訓練、 総合防災訓練の実施	毎年1学区で行われる総合水防訓練を山根小学校で、また、総合防災訓練を南天白中学校で実施します。訓練実施に際しては、地区防災カルテ（前出）を活用し、地域特性を踏まえた特色ある訓練となるよう実施学区と十分に協議します。 ・両訓練には、災害発生時に特別な配慮が必要となる方への対応訓練も実施します。	継続	水防訓練：5月 26日 防災訓練：9月 1日	実施	【実績】 5月26日 水防訓練（山根小学校） 【中止】台風により 9月1日 防災訓練（南天白中学校）
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	中学生向け防災 学習の実施	・より早い段階から防災への認識を深め、災害時に地域の一員として行動できるよう中学生向けの防災学習を実施します。 ○防災学習では、区内の大学と連携し、「避難所運営ゲーム（HUG）」や「防災ジオラマ授業」を主なメニューとして用意し、中学生と大学生が共に防災について学べる仕組みづくりを構築します。	拡充	随時	区内全7 中学校で 実施	【実績】 6月3日 天白中学校 防災講話 7月2日 植田中学校 HUG 7月16日 御幸山中学校 ジオラマ 9月10日 平針中学校 ジオラマ 9月13日 久方中学校 HUG 11月22日 原中学校 HUG 12月13日 南天白中学校 ジオラマ
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	福祉避難所に関する訓練の実施	・身体等の状況や医療的ケアの面で、入院や介護施設への入所の必要はないものの、小中学校等の一般の指定避難所では段差・トイレ等で生活に支障をきたす方を対象とする福祉避難所と連携し、訓練を実施します。	継続	随時	実施	12月23日 関係者打合せ 2月16日 天白小学校及びほっとはむ3・4

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	保健予防課	災害時の健康危機管理、食の備え等についての健康教育の実施	・災害時に起こりうる健康危機に対する防災意識の向上、災害に対する備えを促進するため、保健センターで実施する事業や各学区開催のサロン等で健康教育を行います。	継続	通年	実施	・防災リュック、感染症予防の普及啓発学区地域サロン、子育てサロンにおいて34回（17学区すべて）394人実施 ・歯科の防災リーフレット配布と健康教育2回 48人実施 ・食の備えリーフレットを配布した普及啓発活動（子育てサロン・教室等）44回414人
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	消防署	家具転倒防止ボランティアの派遣	・大規模地震による被害を軽減することを目的に、自力での家具固定が困難な方を支援するため、家具転倒防止ボランティアを派遣します。	継続	通年	実施	家具転倒防止ボランティアを派遣し17件の施工を実施 施工済み：17件（前年度 8件） 施工依頼済（継続中）：2件
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	消防署	自助力・共助力向上の促進	・発災時に自分や家族を守る「自助力」の向上を目指して消防職員、消防団員が地域の集会や行事等の場で啓発します。 ○地震時の安否確認や風水害時の避難誘導等に関する地域でのルール作りや訓練（自主防災活動）を消防団と共に推進し、「共助力」の向上を目指します。	拡充	通年	実施	・学区連絡協議会等へ消防職員が出向き、消防情報や防火・防災に関する講話を実施（件数：250回、延べ参加人数：6,615人） ・自主防災訓練に消防職員や消防団が参加し、安否確認訓練や防災講話等を実施（件数：170回、延べ参加人数：9,825人）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	消防署	戸別訪問による防災用品の配付及び意識啓発	・防災に対する意識を高め、家庭内における「命を守る」ための取り組みを推進するため、各世帯を戸別に訪問し、チェック票による防災診断を行うとともに、防災用品を配付します。	継続	通年	4学区で実施	・令和6年度戸別訪問事業対象学区である4学区において戸別訪問を実施（対象学区：平針北学区、植田学区、植田北学区、植田東学区）
1 災害への備えを強力に進めます。	1－2 地域防災力の強化	消防署	高齢者世帯への防火・防災対策の普及啓発	・市内の火災による死者の多くは高齢者であることから、高齢者の一人暮らし世帯等を訪問し防火・防災対策の普及啓発を図ります。 ・大型店舗等で防火・防災イベントを実施し、高齢者をはじめ広く区民に防火・防災についての普及啓発を行います。	継続	随時	実施	・天白区東部・西部いきいき支援センターと連携する共同防火指導（14世帯）と消防署単独で実施する単独防火指導（411世帯）合計425世帯を実施した。 ・大型店舗等での防火啓発イベントを11月に1回、3月に2回計3回実施した。
2 安心安全なまちづくりを進めます。	2－1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進課（推進G）	犯罪発生状況に応じた防犯対策の実施	・警察署はじめ関係機関と連携し、犯罪の発生状況に応じて効果的な防犯対策を実施します。 ・区民まつり、みんなの元気フェスタinてんぱく等の行事会場や街頭で、多発している罪種の被害防止啓発活動を行います。 ・春・夏・秋・年末に実施する生活安全市民運動・県民運動において、警察署はじめ関係機関や地域と一体となって啓発に取り組みます。	継続	通年	実施 年2回 年4回	・区役所玄関での啓発品配布や庁内放送のほか、区内を青パト車で巡回しながら広報・啓発を実施 ・みんなの元気フェスタでの啓発活動を実施（11月16日） ・年4回の生活安全市民運動・県民運動において啓発活動を実施

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進課（推進G）	特殊詐欺防止対策の実施	・オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺など、手口に応じた被害防止啓発を、高齢者の集まる機会に実施します。 ・広報なごや、区ウェブサイト、行政情報モニター等各種媒体を活用した広報及びポスターによる啓発を行います。	継続	通年	年4回 実施	・特殊詐欺被害防止キャンペーン（計8回（通年）：対象約500名） ・高齢者の集まるふれあいサロンでの啓発を実施（3回（11月～1月）：対象約130名） ・広報なごや区版での啓発を実施（10月号、12月号） ・区役所情報コーナー設置のモニターにて、特殊詐欺注意喚起映像を上映（通年）
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進課（推進G）	住宅対象侵入盗防止対策の実施	・被害の発生している地域の駅や商業施設等において、被害防止啓発活動を行います。 ・自動車盗難防止の活動とあわせ、住民への窃盗手口の紹介など啓発活動を行います。	継続	通年	年4回 年2回	・住宅侵入盗被害防止キャンペーン（5回（通年）：対象約450名）実施
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進課（推進G）	自動車関連窃盗防止対策の実施	・警察署はじめ関係機関と連携し、ナンバープレート盗難防止ネジ取り付けキャンペーンを行います。 ・被害の発生している地域や周辺の商業施設等において、被害防止啓発活動を行います。	継続	5月 10月	年2回 年2回	・ナンバープレート盗難防止ネジ取り付けキャンペーン実施（計2回（4月、10月）：対象約120名） ・自動車関連盗被害防止キャンペーン（計4回（4月（2回）、10月、12月）：対象約220名）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進課（推進G）	青色防犯パトロール活動の支援	・地域が行う青色防犯パトロール車両による活動を支援します。 ・年末の生活安全市民運動の一環として「ダブル・オー作戦～交通事故死ゼロ・犯罪ゼロをめざして～」を実施します。	継続	6月 12月	青色防犯パトロール講習会を年1回 年1回	・広報・啓発活動を実施 ・青色防犯パトロール講習会開催数1回 ・ダブル・オー作戦12月実施
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-2 交通安全啓発活動の推進	地域力推進課（推進G）	交通事故発生状況に応じた交通事故対策の実施	・毎月10日・20日・30日の「交通事故死ゼロの日」に、事故防止のため、区職員も地域の方とともに街頭で啓発に取り組みます。 ・春・夏・秋・年末に実施する交通安全市民運動・県民運動において、警察署や地域と一体となって啓発に取り組みます。	継続	通年	年22回 年4回	・ゼロの日運動を実施（計22回） ・県下一斉大監視を地域、警察等と連携し実施（計4回（4月、7月、9月、12月））
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-2 交通安全啓発活動の推進	地域力推進課（推進G）	高齢者に対する交通安全啓発	・高齢者の集まる機会を活用して、反射材の活用、自転車利用時のヘルメット着用及び自転車損害賠償保険等の加入等の啓発を行います。	継続	通年	年6回	・高齢者の集まる場所に伺い、交通安全啓発講話・交通安全啓発キャンペーンを実施（計5回）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-2交通安全啓発活動の推進	地域力推進課（推進G）	自転車利用マナーの向上呼びかけ	・区内の高校生や地下鉄駅周辺の自転車利用者を対象とした「自転車安全利用促進キャンペーン」を、行政・地域・学校等が連携して実施します。 ・区内の学校等での交通安全教室の開催や区民への啓発媒体の活用により、ヘルメット着用の普及啓発、自転車の交通ルールの周知及び自転車損害賠償保険等への加入の呼びかけを行います。	継続	5月 11月 通年	年2回 交通安全教室を年2回	・自転車安全利用促進キャンペーン3回 ・学校等での交通安全教室0回
2安心安全なまちづくりを進めます。	2-2交通安全啓発活動の推進	地域力推進課（推進G）	新入学児童に対する交通安全啓発	・新入学児童に対して「かぼっち」をデザインした反射材キーホルダーを配布することにより、交通安全意識の向上を図ります。	継続	4月	新入学児童全員に配布	・広報・啓発活動を実施 キーホルダー配布数1,560個

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	民生子ど も課 福祉課	「すくすく訪 問」（赤ちゃん 訪問）の実施	・地域の児童委員・主任児童委員が、初めての 赤ちゃんが誕生したご家庭を概ね3カ月頃に訪問し、区内の子育て情報の紹介等を行います。	継続	通年	実施	対象件数 568件 訪問（報告提出済） 394件 ※訪問は令和7年2月末現在
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	民生子ど も課	「すくすくサロ ン」（子育てサ ロン）の実施	・乳幼児を持つ親とその子が気軽に参加・交 流できるよう、各学区で主任児童委員が中心 となり、親子が楽しめる手遊びや紙芝居等を行 うほか、保健師による子育て相談も受けら れる「すくすくサロン」を実施します。	継続	通年	実施	全学区にて実施

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	児童館	児童館における 子育て支援	・乳幼児の親子が一緒に楽しめる「あかちゃんタイム」「ちびっこ体操」などにより交流の機会を提供します。 ・乳幼児の親子を支援する「おひさまルーム」をエリア支援保育所と連携して実施し、交流を図ります。 ・乳幼児の親子が気軽に参加し交流できる移動児童館事業を、地域のコミュニティセンターや公園などで主任児童委員と連携して実施します。	継続	通年	一般来館 者数 1日平均 25人以上	・「あかちゃんタイム」 8回実施 ・「ちびっこ体操」 11回実施 ・「おひさまルーム」2回実施 ・「移動児童館」 5/29・10/30 植田大坪公園 8/19 相生 10/4 植田 12/10 八事東 12/13 平針南 てんぱくプレーパーク 30回実施 ・一般来館者数 1日平均42.2人
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	民生子ども課	子育て支援情報の提供	・保育案内人を区内の子育てサロンや地域子育て支援拠点等へ派遣し、保育所等の情報提供を行います。 ・区役所に設置した「かぼっち広場」において子育て情報を提供します。	継続	通年	実施	・保育案内人 出張相談件数 15件 対応人数 124名 ・ちらし、保育園紹介ファイル等配架、ポスター掲示
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防課	母子健康手帳発行時の妊婦面接の実施	・子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）にて母子健康手帳発行時（転入者については転入時）に、すべての妊婦の方に面接し、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるよう妊娠期から子育て期における切れ目のない相談支援を行います。	継続	通年	実施	妊婦面接：1083件

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	妊娠期における 子育て支援講座 の開催	・妊婦とその家族を対象とした講座「ニューファミリーセミナー」を開催します。（内容：講話・交流会・妊婦体験ジャケットの着用・沐浴等の体験・妊娠中の食事の話・試食） ・参加者が安心して子育てに臨めるよう地域の子育て情報の提供や仲間づくりの支援を行います。	継続	通年	実施	3月末実績 回数： 12(2日間/回) 参加者数： 174 (延参加者数： 307)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	乳幼児期におけ る子育て支援の 実施	・乳児の保護者を対象に、保健センターにおいて子育て教室を開催します。また、未就学児を対象とした各学区主催の子育てサロンに専門職が出向き、乳幼児の健康等に関する講話や相談に応じます。	継続	通年	実施	子育て教室 6回実施 63組参加 子育てサロンでの実施回数 103回 721名
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	周産期連携会議 の開催	・安心安全な出産、子育てに繋ぐために関係機関と相互の連携を図り、協力体制を強化し、妊娠期からの切れ目ない支援を行うため、周産期連携会議を開催します。	継続	12月頃	実施	11/18開催 産科病院2か所、助産院1か所、 訪問看護ステーション2か所、 産科クリニック1か所、 特定妊婦訪問支援事業助産師3名、 保健センター保健師等 計22名参加

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	新生児・乳児訪 問、産婦訪問	・助産師や保健師が訪問して、子どもの発育 についての保健指導、産後の健康管理、孤立 予防の支援を行います。	継続	通年	実施	訪問面接：1008件
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	妊産婦及び乳幼 児における食育 の支援	・妊産婦及び乳幼児の食育を支援するため、 成長段階に応じた各種の教室・講習会等を開 催します。	継続	通年	実施	3月末実績 回数：33 受講者数：273
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3－1 妊娠期か らの子育 て支援	保健予防 課	ブックスタート 事業の実施	・保健センターの3か月児健診の機会を活用し て、天白図書館のボランティアが絵本の読み 聞かせの実演を行い、読み聞かせを通じた赤 ちゃんとのふれあいの大切さを伝え、家庭で 絵本を楽しむきっかけをつくります。 ・絵本のプレゼントと図書館の紹介をしま す。 ・天白区マスコットキャラクター「かぼっ ち」をデザインした貸出券を図書館にて発行 します。	継続	通年	実施	3月末実績 延参加者数：2,466(33回)

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3-2 子育てに かかわる 関係団 体・機関 の連携に よる子育 て支援	民生子ど も課	子育て支援活動 の推進＜支援者 との協働事業＞	・保護者が安心して子育てができるよう、天 白区や周辺で子育てを支援している行政機関 や民間団体の情報を掲載した「子ども・子育 てお役立ち便利帳」を発行します。 ・子育て支援情報の提供や親子同士の交流の 場となる催しを参加者のニーズを踏まえて企 画・実施します。	継続	・〔便利 帳〕3月 ・年1回	「てんぱ く子育て フェア」 の参加者 アンケート で「満足 した」と 回答し た人の割 合 95%以 上	・〔便利帳〕 3,200部発行 ・未就園児とその保護者、プレママ・プレパパを対 象に天白スポーツセンターにて「てんぱく子育て フェア2024」を開催（9月26日（木）） ・参加者アンケートの満足度99%
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3-2 子育てに かかわる 関係団 体・機関 の連携に よる子育 て支援	民生子ど も課 福祉課	子どもに対する 地域の取り組み 支援	〇ひとり親世帯等の子どもに対して地域団体が 主体となって学習の場や居場所を提供しま す。 ・天白区子ども会連合会と連携しながら、地 域の子ども会活動を支援します。 ・障害のある子もない子も、みんな一緒にい きいきと楽しめる活動による地域のインク ルージブ（※）な環境づくりを支援します。 ※インクルージブ：「すべてを包括する、包 みこむ」の意味で、人種や障害などその人の 属性によって排除されることなく、誰もが分 け隔てられることのないこと。	継続	通年	学習の 場・居場 所3か所 以上 実施 実施	・4か所 ・実施
3妊娠期 から切れ 目なく子 育てを支 援しま す。	3-2 子育てに かかわる 関係団 体・機関 の連携に よる子育 て支援	民生子ど も課	子育て支援ネッ トワーク連絡会 の開催	・子育て支援ネットワーク連絡会と連携しな がら、子育て支援の関係機関等が、人的な交 流や情報交換等を通じて相互の連携を図りま す。	継続	通年	年4回	年4回実施（4/18、6/19、11/5、3/7）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4－1 児童虐待 防止	民生子ど も課	関係機関と連携 した要保護児童 等への支援	・支援を必要とする家庭の早期発見や情報共有を行うため、児童相談所、保健センター、警察署、なごや子ども応援委員会、保育施設、学校をはじめとした関係機関や地域の主任児童委員等と連携を図ります。 ・実務者会議を毎月開催し、要保護児童等に対する支援方針を協議するほか、サポートチーム会議を随時開催し、個別ケースにおける具体的な支援内容を協議し、支援を行っていきます。	継続	通年	児童虐待 による死 亡事件： 0件	児童虐待による死亡事件：0件 校内チーム会議参加回数 10回
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4－1 児童虐待 防止	民生子ど も課	オレンジリボン キャンペーンの 実施	・児童虐待防止推進月間となっている5月と11月に、「すくすくサロン」や地下鉄駅周辺などにて児童虐待防止の啓発を行います。	継続	5月 11月	年2回	年2回実施（5月、11月）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4－1 児童虐待 防止	民生子ど も課	子育てに悩む家 庭への支援	・子育てに関する相談に応じるとともに、必要に応じて適切な支援につなげます。 ・子どもとの信頼関係を築きながら子育てするための具体的な方法を学べる講座や、親であることを楽しめるよう子育てのスキルアップを図る講座を開催します。 ・子育てに関する日々の悩みや不安を解消できるよう、子育てのヒントや役立つ情報を提供する講演会を開催します。	継続	通年 年5回 年1回	講演会の 参加者ア ンケート で「役立つ」と回 答した人 の割合 95%以 上	・「パパ向けイライラしない子育て講座」を開催（5月11・18日（土）） 応募4 ・「スター・ペアレンティング講座」を開催（6月10・17・24（月）） 応募8 ・「イライラしない子育て講座」を開催（9月5・12・19日（木）） 応募12 ・「スター・ペアレンティング講座」を開催（10月22・29日・11月5日（火）） 応募8 ・「スター・ペアレンティング講座」を開催（2月6・13日・20日（木）） 応募9 アンケートで役立つと回答した人100%
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4－2 青少年健 全育成	地域力推 進課（学 習G）	青少年育成区民 大会の実施	・学区と緊密に連携し、区民総ぐるみの青少年健全育成活動を盛り上げるため、学区の活動報告や講演会等を実施します。	継続	2月	来場者数 250名以 上	2月26日実施（学区活動の報告（植田学区、植田南学区）及び講演会「地域の子もたちとともに生きる」）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4-2 青少年健 全育成	地域力推 進課（学 習G）	青少年すこやか 標語・ポスター の募集・展示	・ 標語及びポスターを小中学校及び特別支援学校の児童生徒から募集するのに加え、広く一般からも標語を募集し、区役所やイベントで優秀作品を展示することにより、青少年健全育成の啓発を行います。 ○区制50周年を契機に、次の50年を担う子どもたちの未来を展望し、青少年健全育成啓発活動を盛り上げます。	継続	7月～2 月	応募総数 1,200点 以上	・ 応募総数1,013点 ・ 区制50周年にちなんだタイトルで標語を募集し、区のホームページに掲載 ・ 区内6か所、市政資料館で展示
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4-2 青少年健 全育成	地域力推 進課（学 習G）	青少年健全育成 キャンペーン事 業の実施	・ 学区・学校などと連携して、見守り、声かけによる非行防止等と呼びかける啓発活動を行います。	継続	7月 12月	年2回	・ 植田学区夏祭りにて啓発物品を配布（8月24日） ・ 子どもスポーツフェスタ（12月1日）において、啓発物品を配布
4子ども たちの健 やかな育 ちを支援 します。	4-2 青少年健 全育成	地域力推 進課（学 習G）	青少年を対象と した啓発活動	・ ネット犯罪等の被害にあわないよう、またネットいじめやトラブルに発展しないよう、関係機関等と連携して、青少年に対する啓発活動を行います。	継続	随時	実施	学校を通じて小学校6年生へネット犯罪・トラブル防止啓発のチラシを全校配布（1月）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者 がいさい きと暮らし やすいよう 支援しま す。	5-1 高齢者が 地域で安 心して暮 らすため の支援	福祉課 (ケア)	「みんなの元気 フェスタinてん ぱく」の開催	・「みんなの元気フェスタ」を開催し、医師 会や介護事業者をはじめとする専門職間や協 力団体との連携を深めるとともに、健康や介 護に関する情報を広く区民に提供します。	継続	11月	実施	・50周年記念事業として実施 ・歯科医師会や民生委員会長（輪番）、介護事業者 等を委員とする実行委員会を5回開催 ・11月15日（金）及び11月16日（土）開催
5高齢者 がいさい きと暮らし やすいよう 支援しま す。	5-1 高齢者が 地域で安 心して暮 らすため の支援	福祉課 (ケア)	シニア向けICT 利活用の推進事 業	・「シニア向けICT利活用の推進事業」を実施 し、スマートフォンやスマートホーム等のICT 利活用セミナーやeスポーツ体験会等を通し て、高齢者がICTに慣れ親しみ、情報格差の解 消を進めることで生活の質の向上を図りま す。	新規	未定（年 1回）	実施	・高齢者がICTに慣れ親しむことで、情報格差の解 消を進めることを目的とした、「シニア向けつな がる楽デジフェスタinてんぱく」令和7年2月4日 （火）に開催
5高齢者 がいさい きと暮らし やすいよう 支援しま す。	5-1 高齢者が 地域で安 心して暮 らすため の支援	福祉課 (ケア)	社会福祉協議会 における「地域 支えあい事業」 の推進	・社会福祉協議会による「地域支えあい事 業」として、高齢者をはじめ生活にお困りご とがあるすべての方を対象に、ちょっとした 生活支援ができるような住民同士の支えあ いの仕組み作りを支援します。	継続	通年	8学区以 上で実施	地域支えあい事業 7学区で実施 （表山、高坂、山根、しまだ、平針南、平針北、八 事東）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らしやすいよう支援します。	5-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	「わたしの応援ノート」の周知	・地域の高齢者がこれからの過ごし方を考え整理するために、これまでや現在の自分を振り返って書き記す「わたしの応援ノート」を地域の高齢者に周知することで、高齢期を迎えるにあたり、困りごとが生じる前に準備を進めるきっかけとしていただきます。	継続	随時	100人以上に周知	わたしの応援ノート周知（社会福祉協議会） ⑥ 69名 ⑤ 63名 ④ 159名
5高齢者がいきいきと暮らしやすいよう支援します。	5-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	「かぼっち安心連絡カード」の配布	・75歳以上のひとり暮らし高齢者や地域から孤立する恐れがある方を民生委員や高齢者福祉相談員が訪問した際、かかりつけ医などの情報を記載できる「かぼっち安心連絡カード（緊急時連絡用マグネットシート）」を配布します。	継続	随時	配布枚数 200枚以上	「かぼっち安心連絡カード（緊急時連絡用マグネットシート）」民生委員・介護事業者等からの求めに応じて追加配布 ⑥ 276部 ⑤ 280部 ④ 50部
5高齢者がいきいきと暮らしやすいよう支援します。	5-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	いきいき支援センター・福祉課（ケア）	「つなぎシート」の活用による民生委員とケアマネジャーとの連携	・民生委員とケアマネジャーが情報を共有するため「つなぎシート」を作成することで、介護サービスを利用している方を連携して支援し、安心して住み慣れた地域で生活できるようにします。	継続	随時	作成件数 70件以上	つなぎシート実績（いきいき支援センター） 54件

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5－1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	地域支援ネットワークの構築	・地域で問題を抱え孤立している高齢者の見守りや支援をするため、行政機関、いきいき支援センター、地域の支援者及び多職種による専門職を交えた本人を中心とする支援ネットワークを構築します。	継続	随時	構築件数 40件以上	地域支援ネットワーク 174件（東西合算）
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5－1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	見守り連携会議の開催	・「見守り連携会議」を開催し、警察署や消防署を含む行政機関と見守り協力事業者による見守り活動等に関する情報を共有することで、関係機関のネットワーク構築を図り、安否確認が必要な方への対応など、効果的な高齢者の見守りにつながる取り組みを推進します。	継続	12月	実施	見守り連携会議 令和7年1月24日（金）開催

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	在宅医療と介護の連携	・「在宅医療と介護の連携」を進めるため、医師会が運営する「天白区はち丸在宅支援センター」による医療・介護職など多職種を対象とした学習会や、在宅医療・介護に関する市民向けの広報活動を支援します。	継続	随時	実施	・9月17日 植田学区民生委員児童委員協議会にて、在宅療養に関する講話実施 ・11月16日 みんなの元気フェスタにて市民へ「名古屋市在宅医療・介護のしおり」を配布し、普及啓発動画「いつまでも自分らしく生きるために」を上映
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	いきいき支援センター・福祉課(ケア)	「認知症の人にもやさしい店や事業所」の理解促進事業	・認知症を正しく理解し、認知症の人に対して「やさしく・ゆっくり・ていねい」に対応する「認知症の人にもやさしい店や事業所」を地域の方に知ってもらうことで、認知症の人や家族が安心して生活できる天白区を目指します。	継続	通年	設置数 54店舗 以上	「認知症の人にもやさしい店や事業所」 ⑥ 55店舗 ⑤ 50店舗 ④ 42店舗 ③ 37店舗

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	はいかい高齢者 おかえり支援事 業	・はいかい高齢者が発生した際に、検索のための情報提供にご協力いただく「おかえり支援サポーター」の登録者数の増加を図ります。	継続	随時	登録件数 1,200件 以上	「おかえり支援サポーター」 登録数 累計1,232件（アドレス） ※「はいかい高齢者おかえり支援事業」統計資料より
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	いきいき 支援セン ター・福 祉課（ケ ア）	いきいき支援セ ンターにおける 認知症高齢者を 介護する家族支 援事業	・認知症高齢者を介護する家族の負担を軽減するため、「家族教室」や「家族サロン」及び医師による専門相談を実施します。	継続	通年	家族サロ ン参加者 100名以 上	家族サロン等 ・認知症家族サロン 24回、延べ114名参加

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	いきいき支援センター・福祉課（ケア）	認知症カフェの設置促進	・認知症本人やご家族、地域住民など誰もが気軽に集い、情報交換ができる拠点として「認知症カフェ」の設置を促進します。	継続	通年	設置数 23か所	認知症カフェ ⑥25箇所 ⑤22箇所 ④21箇所 認知症カフェ交流会 3回
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課（高齢）	高齢者の権利擁護の支援	・判断能力が十分でない方の権利を守り、その生活や財産を支援するため、成年後見制度の利用を促進します。	継続	随時	実施	市長申立件数 ⑥ 6件 ⑤ 3件 ④ 0件 ③ 4件
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	いきいき支援センター・福祉課（ケア）	認知症サポーターの養成・フォローアップ	・認知症に対する正しい理解と知識の普及を図るため、「認知症サポーター」を養成するとともに、受講者へのフォローアップ研修を通じてスキルアップを図ります。 ・認知症サポーターをはじめとした支援者等によるチーム「チームオレンジ天白」を結成し、継続的な支援に取り組みます。	継続	通年	認知症サポーター養成講座 受講人数 600名以上	認知症サポーター養成講座 ・養成講座 24回、937名受講 ・ステップアップ講座…123名受講 ・チームオレンジミーティング…11月1日に実施し15名参加、天白区の活動状況や今後の方針について共有。 ・区職員について、9月、10月に新規採用・転入者が計20名受講した。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者 がいきい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5-2 認知症に なっても 安心して 暮らせる まちづく りの推進	いきいき 支援セン ター・福 祉課（ケ ア）	認知症の本人発 信支援	・認知症と診断されても希望や生きがいを持ち、自分らしく生きられるよう、認知症の人が気軽に参加でき、相談できる場所として、本人ミーティング「咲いたカフェ」を開催し、認知症当事者の発言・発信や希望の実現を支援します。	継続	通年	年10回	咲いたカフェ 12回
5高齢者 がいきい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5-2 認知症に なっても 安心して 暮らせる まちづく りの推進	いきいき 支援セン ター・福 祉課（ケ ア）	認知症および認 知症専門部会事 業の周知	・認知症専門部会による広報誌「おれんじだより」の発行など、天白区の認知症への取り組みを広く周知するとともに、認知症の人が生き生きと活動している姿を発信します。	継続	おれんじ だより」 年1回	実施	おれんじだより 第10号を発行（年1回） 3,000部
5高齢者 がいきい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5-2 認知症に なっても 安心して 暮らせる まちづく りの推進	保健予防 課	認知症講演会の 実施	・医師や当事者、介護職員等による「認知症講演会」を開催し、認知症に関する知識の普及啓発を図ります。	継続	11月	実施	11月15日（金）開催 講師：八事病院認知症疾患医療センター 吉田 伸一 センター長 健康運動企画センター長 植屋 節子 先生

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者 がいきい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5－3 高齢者の 生きがい づくりと 介護予防 の推進	保健予防 課	保健環境委員 によるフレイル (※) 予防の推 進	- 各学区保健環境委員会と協働してフレイル 予防教室にフレイル予防リーダー等の講師を 派遣するなどの支援を行います。 ※フレイル：加齢によって気力・体力が徐々 に落ち、要介護になる一歩手前の状態。早く 気がついて対策することで、健康な状態に戻 ることが期待できる。	継続	通年	実施	地域のニーズや実情に合わせて、フレイル予防や健 康づくりに関する講師を派遣するなどの支援を実 施。
5高齢者 がいきい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5－3 高齢者の 生きがい づくりと 介護予防 の推進	保健予防 課	「てんぱくヘル スカレッジ」の 開催	認知症予防、口腔衛生、栄養、運動等につ いて学ぶ教室「てんぱくヘルスカレッジ」を 開催します。	継続	通年	実施	てんぱくヘルスカレッジ 口腔衛生教室 3回 延べ参加者41人 栄養教室 3回 延べ参加者55人 運動教室 3回 延べ参加者88人 介護予防全般（医師講話）教室 1回 参加者28人

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5－3 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	福祉会館・福祉課（ケア）	福祉会館におけるシニア向け講座の開催	・高齢者の居場所づくりに資するように、福祉会館において、60歳以上の方を対象に、「健康づくり」、「教養を深める」、「趣味を楽しむ」など、様々な目的の講座を開催します。	継続	通年	福祉会館利用者満足度95%以上	・21種の講座を開催。 ・同好会の活動支援。（18同好会） ・年間延利用者数23,299人 福祉会館利用者満足度92.6%
5高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	5－3 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	保健予防課	健康づくりセミナーなどでのPR等	・保健環境委員会を中心とした健康づくりセミナーなどでのPR等を通じ、健康づくりの為にきっかけづくりを支援します。	継続	通年	実施	10月3日 健康づくりセミナー（文化小劇場） 歌と音楽でたのしくお口を動かそう 講師：神農よし美先生 摂食嚥下・口腔関係のおはなし「健康長寿の秘訣！オーラルフレイルを予防しよう」 講師：坂木梢先生、齊藤綾哉花先生（参加者77人） 11月3日 かぼっち健康フェスタ（農業センター）健康測定・健康づくり活動紹介等（参加者延べ268人）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者がいきいきと暮らしを支援します。	5-3 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	福祉課 (高齢)	高齢者の生きがいづくり活動への支援	・高齢者の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の福祉に資するため、天白区シニアクラブ連合会の活動内容等を広報するとともに、組織運営を支援して、活動の活性化と会員の増加に努めます。 ・天白区シニアクラブ連合会の各単位クラブの友愛訪問活動や通いの場となるサロンの運営を支援して、高齢者の孤立を防止します。	継続	随時	実施	・単位クラブの情報等を、市老人クラブ連合会のウェブサイトですぐ発信。また、区シニアクラブの活動内容等を紹介した冊子「天シ連」を作成し、1月と7月に配布。（今後も継続予定。） ・友愛活動実施クラブ数 (訪問) ③22 ④21 ⑤25 ⑥23 (サロン) ③5 ④5 ⑤5 ⑥5
5高齢者がいきいきと暮らしを支援します。	5-3 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	福祉会館・福祉課(ケア)	福祉会館における充実したシニアライフの支援	・福祉会館において、孤独感や悩み事などの日常生活の相談を行うとともに、「福祉電話相談」としてひとり暮らし高齢者の安否確認や話し相手になるボランティアグループの活動を支援します。 ・福祉会館において「認知症予防リーダー養成講座」を受講し、社会貢献活動への参加意欲のあるリーダーを地域の高齢者サロン等へ派遣します。	継続	通年	派遣回数 延150回 以上	・週2回(月、木の午前)電話相談を実施。 ・「認知症予防リーダー養成講座」を2回実施し、4名登録。 ・サロン等への派遣活動、延141回実施。 ・活動の練習や勉強の場をサポート。
5高齢者がいきいきと暮らしを支援します。	5-3 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	保健予防課 福祉課(ケア)	健康づくり活動の支援	・公園体操などに取り組む地域の健康づくりボランティアグループ「てんぱく健康づくり隊」の活動を支援します。	継続	通年	実施	「てんぱく健康づくり隊」 ・区内6か所の公園で実施。 (天白公園、であい公園、戸笠公園、井口公園、上八事第三公園、元八事公園) - 延べ148回 延べ参加者3,085人 ・隊員の担い手発掘のため、てんぱく健康づくり隊養成講座を実施。 ・隊員(体操の指導役)の定例会を年4回開催。 ・てんぱくヘルスカレッジ参加者へのアドバイザーとして事業参加し、公園体操の普及啓発を4回実施。 ・隊員のリーダーとしての資質向上のために、講師による勉強会を実施。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
5高齢者 がいざい きと暮ら せるよう 支援しま す。	5－3 高齢者の 生きがい づくりと 介護予防 の推進	保健予防 課 福祉課 (ケア)	健康づくりに関 する啓発	・「健康づくり部会」を中心に作成した「てんぱくお口の体操」や「公園体操」の紹介映像、認知症予防や健康づくりのリーフレットなどを活用した啓発を進め、主体的な健康づくりを推進します。また、住民同士のつながりを深めることが、健康の維持・向上につながることを普及啓発し、地域のつながりづくりを目指します。	継続	随時	実施	・「てんぱくお口の体操」のチラシ、クリアファイルを活用した普及啓発を実施。 ・地域サロン、シニアクラブ、公園体操などの場でオーラルフレイルの健康教育と「てんぱくお口の体操」の普及啓発を実施。
6障害者 が安心して 暮らせる よう支 援しま す。	6－1 障害者自 立支援活 動の推進	福祉課 (障害)	障害に対する理 解の促進	・障害のある方の生活を地域全体で支えるため、天白区障害者自立支援連絡協議会と協働で障害に対する理解の促進を図ります。 ・障害に関連したテーマの映画を上映する「シネマでみる・ふくし」を開催します。 ・障害福祉関係者を対象に障害福祉に関する研修会を開催します。	継続	通年 11月 5月 9月 2月	シネマで みる・ふ くし来場 者数 220人以 上	・天白区障害者自立支援連絡協議会運営会議を毎月実施 ・シネマでみる・ふくし2024を11月30日（土）開催。 200名参加 ・研修会の開催 5月：報酬改定等（情報交換） 80名参加 9月：防災について 64名参加 2月：知的障害・発達障害のある人の理解について 71名参加

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
6障害者 が安心して暮ら せるよう支 援しま す。	6-1 障害者自 立支援活 動の推進	福祉課 (障害)	障害者の社会参 加の促進	・ 障害に対する市民の理解を深め、障害者の就労を支援することを目的として、授産製品を展示・販売する「マーガレットマルシェ」を区役所1階の「てんぱく情報ひろば」において開設します。 ・ 天白区障害者自立支援連絡協議会が企業、大学、各種イベントなどにおいて授産製品の展示・販売を行う「出張マーガレットマルシェ」を支援します。また、製品の製造過程がわかる動画も流すことで、販売する製品や障害への理解を深めていただく取り組みを実施します。 ・ 天白区在住・在勤で障害のある方が制作したアート作品を展示する「顔の見えるアート展てんぱく」を開催します。また、作品の制作過程の様子がわかる工夫を行い、制作者の作品への思いや考えがより伝わる取り組みを実施します。 ・ 障害のある方が区役所敷地内で天白区特産野菜である「くりあじかぼちゃ」「八事五寸にんじん」の栽培、収穫に参加することで、障害のある方の社会参加を促進します。 ・ 障害のある子もない子も、みんな一緒にいきいきと楽しめる活動による地域のインクルーシブ（※）な環境づくりを支援します。 ※インクルーシブ：「すべてを包括する、包みこむ」の意味で、人種や障害などその人の属性によって排除されることなく、誰もが分け隔てられることのないこと。	継続	・ 通年 ・ 通年 ・ 9月～11月（予定） ・ 随時 ・ 通年	出張マー ガレット マルシェ 出店回数 10回以 上	・ マーガレットマルシェ販売実績 ⑥5,314,736円 ⑤5,202,350円 ④4,882,732円 ・ 出張マーガレットマルシェ 9月26日：てんぱく子育てフェア 11月9日：なごや生物多様性センターまつり 11月15日：イオン八事（顔の見えるアート展てんぱく） 11月16日：みんなの元気フェスタ 11月30日：シネマでみる・ふくし 1月31日～2月3日：名古屋市寿荘（顔の見えるアート展てんぱく） 2月15日～3月14日：しだれ梅まつり ・ 顔の見えるアート展てんぱく 10月9日～開催 ・ 栽培、収穫 4月：苗植え（くりあじかぼちゃ） 7月：収穫（くりあじかぼちゃ） 9月：種まき（八事五寸にんじん） 12月：収穫（八事五寸にんじん）
6障害者 が安心して暮ら せるよう支 援しま す。	6-1 障害者自 立支援活 動の推進	福祉課 (障害)	障害者差別の解 消	・ 障害者差別に関する相談について、市障害者差別相談センター等の関係機関と連携して対応します。	継続	随時	実施	差別相談の実績 ⑥0件 ⑤0件

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
6障害者 が安心して暮ら せるよう支援し ます。	6-1 障害者自 立支援活 動の推進	福祉課 (障害)	障害者虐待の防 止	・虐待通報に対し、区障害者基幹相談支援セ ンターや市障害者虐待相談センター等の関係 機関と連携し速やかに対応します。	継続	随時	実施	虐待通報受付の実績 ⑥13件 ⑤22件
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天白の魅 力発信	地域力推 進課（企 画G）	区民まつり「ま つり天白 2024」の開催	・区内の各種団体、企業、学校と連携して区 民の誰もが楽しめる区民手づくりの「まつ り」を開催します。 ○「かぼっちミーティングin区民まつり」と して、区役所・公所（署）が連携して特別エ リアを設置します。 【日時・場所】 10月27日（日）10:00～15:00 天 白公園	拡充	10月	実施	【開催日時・場所】 10月27日（日）10:00～15:00 天白公園 ※衆議院議員選挙と重なり、運営人員の確保ができ ないため中止とした。
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天白の魅 力発信	総務課 (農政) 健康安全 課 保健予防 課	かぼっち健康 フェスタの開催	子育て世代の心の不調、高齢者の認知症等 の要因の一つとなっている、「地域のつなが りの希薄化」の改善に向けたきっかけ作りの ために、令和6年4月に全面リニューアルする 名古屋市農業センターを拠点に、区内関係公 所や地元大学生と連携し、地域活動、健康、 食・農業をテーマにしたイベントを開催しま す。	新規	11月	実施	・農業センターまつり2日目の11月3日に同まつり と共同開催し、様々な体験・交流イベントを実施 ・企画から当日運営に至る一連の事業を、区内の2 大学（名城大学・東海学園大学）と協働実施 ・11月3日来場数：11,679人（農業センター調 べ）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天白の魅 力発信	地域力推 進課（企 画G）	自然観察会等の 実施	・天白区の貴重な自然を守り育て、次世代に残すために、区内の自然をフィールドとする市民グループ8団体と関係行政機関で構成する連携組織「天白・もりのフォーラム」において、関係団体機関と連携して引き続き情報交換・交流を行います。 （構成団体） 相生山緑地オアシスの森くらぶ、相生山緑地自然観察会、白玉星草とハ丁トンボを守る島田湿地の会、天白・川辺の楽校、てんぱくプレーパークの会、東山自然観察会、天白公園整備クラブ、荒池ふるさとクラブ、天白区役所、天白土木事務所、天白生涯学習センター ・相生山緑地、荒池緑地、天白川、天白公園、島田緑地、東山の森といった身近な自然をフィールドとして、「天白・自然とふれあい隊！」と題した自然観察会や自然体験会を実施します。	継続	6～11月	参加者アンケートで「よかった」と回答した人の割合：100%	7回開催で延べ218名（88組）参加 ※参加者アンケートで「よかった」と回答した人の割合：100%（回答総数71組）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天白の魅 力発信	総務課 (農政)	天白の「農」を 楽しむプロジェ クト	・受講者が天白区の特産野菜を「学び、育 て、味わう」ことを通じて天白区の「農」を 楽しむ講座を農業センター、天白生涯学習セ ンターと共同で開催します。 ・区役所敷地内で、天白区特産野菜である 「くりあじかぼちゃ」、「八事五寸にんじ ん」を栽培、展示するなど特産野菜の普及啓 発を図ります。 ・区内の朝市・直売所をPRし、地産地消の 推進を図ります。 ・農家の意欲向上を図り、区内の農業の成果 を区民に周知するため、地元農産物を展示 し、併せて優秀な農産物等を出品した農家を 表彰する「農産物品評会」を実施します。 ・「農」のもたらす豊かな恵みを味わって いただくため、農家自ら栽培した野菜等を自主 販売する新鮮朝市や、区内で収穫された農産 物を使った模擬店の出店を行う「農業まつ り」を実施します。実施にあたっては、区制 50周年を契機として、内容を充実させ、地産 地消の更なる推進や、区の魅力向上を図りま す。	拡充	5月～12 月	区民アン ケートに おける認 知度 「八事五 寸にんじ ん」 65%以 上 「くりあ じかぼ ちゃ」 40%以 上	・区民アンケートにおける認知度 八事五寸にんじん⑥54.5%⑤57.1% くりあじかぼちゃ⑥34.3%⑤35.0% ・生涯学習センター共催講座 8月に2回開催 ・八事五寸にんじん体験教室 3回講座（8月、10月、12月） ・区役所敷地内で、くりあじかぼちゃ、八事五寸に んじんを栽培・展示 ・区内の朝市・直売所を農業まつり（12月開催） のイベントにてPR ・農産物品評会・農業まつりを区制50周年記念事 業の冠を掲げ、12月に開催
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 歴史の継 承	地域力推 進課（企 画G）	史跡散策路の紹 介	・区内の歴史・自然等、広く地域の魅力を発 掘して多くの区民に伝える活動をしている市 民グループ「天白ガイドボランティア歴遊 会」と協働で、区内の史跡を巡る「史跡散策 ウォーキング」を実施します。 ・史跡散策路等の案内を希望する団体や個人 グループからの依頼を受け、歴遊会によるガ イドを行います。	継続	5月 11月 随時	参加者ア ンケート で「よ かった」 と回答し た人の割 合： 100%	・春の史跡散策ウォーキング実施 5月11日（土）参加者40名 ・秋の史跡散策ウォーキング実施 11月9日（土）参加者40名 ※参加者アンケートで「よかった」と回答した人の 割合：100%（回答総数71名）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 歴史の継 承	地域力推 進課（学 習G） 企画経理 課	次代につなぐ区 制50年間の 「軌跡」の発刊 （記念誌）	・令和7年2月に区制50周年を迎える天白区で開催される地域行事やそれに携わる方々や参加者を取材し記念事業で高まった機運、この50年の歴史を冊子にまとめ、次代へつなぐ「地域への愛着」を深める機会とします。	新規	3月	記念誌編 集委員会 を組織し て地域の 方とともに作成	・令和7年3月発行
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 歴史の継 承	企画経理 課	天白区にまつわ るなつかしい写 真活用事業	・区民から提供を受けた天白区の移り変わりを 感じさせるなつかしい写真を活用し、歴史 を通じて区の魅力を発信します。 ・地域行事での展示や、認知症予防として注 目されている「回想法」、学校での学習など に活用できるよう、写真パネルを貸し出しま す。 ・庁舎内への掲出や区発行広報物への掲載を 行います。 ・区民に協力いただき、今昔写真の収集に努 めます。 ○区制50周年を記念して、地域の発展を知り さらに愛着を持っていただくことを目的とし た今昔写真の展示を区役所等で実施します。	拡充	通年	実施	・区民からの写真提供4件 ・今昔写真の展示を令和6年2月1日から令和7年3月31日まで実施。

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7ー3 文化・ス ポーツの 推進	地域力推 進課（学 習G）	てんぱく音楽祭 の開催	・区民の音楽への関心と意欲を高めるため、区民に音楽演奏の場と生演奏及び質の高い音楽に触れる機会を提供します。 ・学生が音楽祭（2日間に渡り開催）をプロデュースすることで、既存の枠にとらわれず自由な発想で若者を中心に多世代が参加する音楽祭の実現をめざします。 ○区制50周年を契機として、区民の皆さまの笑顔があふれるまちをめざす取り組みとして、音楽祭を盛り上げます。	拡充	1月	来場者数 各日250 名以上	1月24・25日実施（来場者数 両日ともに約350名） ・24日は「魂で聞く！熱狂コンサート」をコンセプトとし、プロの演奏家による演奏を実施。 ・25日は「夢を奏でるドリームコンサート」をコンセプトとして、区内高校生のパフォーマンスと天白区出身のプロ演奏家による演奏を実施。
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7ー3 文化・ス ポーツの 推進	地域力推 進課（学 習G）	天白区美術展・ 華道展の開催	・区民の美術への関心と意欲を高めるため、天白区美術展を開催します。その中で区民鑑賞会を開催し、審査員による作品解説を通して、区民の美術への理解を深めます。 ・区民が華道に触れ合う機会として、華道クラブとの共催で春と秋に華道展を開催します。 ○区制50周年を契機として、区民の皆さまの笑顔があふれるまちをめざす取り組みとして、美術展を盛り上げます。	拡充	美術展 10月 華道展 5月 10月	来場者数 美術展 400名以 上 華道展 200名以 上	・美術展実施（10月11日から13日まで）、来場者数326名 ・華道展実施（5月12日、9月29日）、来場者数280名

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7ー3 文化・ス ポーツの 推進	地域力推 進課（学 習G）	子どもいけばな 体験教室	子どもが華道に触れ合う機会として、華道ク ラブとの共催で子どもいけばな体験教室を実 施します。	継続	夏休み期 間中	参加者ア ンケート で「よ かった」 と回答し た人の 割合： 100%	7月27日開催、参加者アンケートで「よかった」 と回答した人の割合：100%
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7ー3 文化・ス ポーツの 推進	地域力推 進課（学 習G）	地域スポーツの 振興	・スポーツ団体との協働により各種スポーツ 大会を開催します。 ・地域スポーツ団体の活動を支援します。 ・ユニバーサルスポーツ（※）の普及に努め ます。 ※ユニバーサルスポーツ：障害の有無や年 齢、性別等に関係なく、その場に集まった誰 もがみんなで一緒に楽しめるように、ルール や用具の工夫を行い実施するスポーツ。	継続	随時	ユニバー サルス ポーツ備 品の貸出 件数 40件以 上	・てんぱく子どもスポーツフェスタにて、ユニバー サルスポーツ体験会を実施（12月1日） ・ユニバーサルスポーツ備品の貸出し件数 72件
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7ー3 文化・ス ポーツの 推進	地域力推 進課（学 習G）	子ども向けス ポーツイベン トの開催	・各種スポーツ団体等と連携し、親子で参加 できるスポーツ体験イベントを開催すること で、成長期の児童がスポーツを始めるきっか けづくりと地域スポーツの振興を図ります。 ・スポーツ推進委員との共催で子どものス ポーツに対する関心を高めるための「子ども 向け運動教室」を開催し、体力の向上と運動 を通じたコミュニケーション能力の発達を促 します。	継続	12月	来場者数 300名以 上	てんぱく子どもスポーツフェスタ ・12月1日開催（参加者300名） ・ユニバーサルスポーツ（フライングディスク、 ボッチャ）やドッジボール、ダンス教室などを実施

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-4 天白区の PR活動	企画経理 課	天白区のPR活 動の推進	・職員や区政協力委員、民生委員・児童委員、保健環境委員が「かぼっち」をプリントした「オリジナル名刺」を使用するとともに、職員が「かぼっち」をプリントした「オリジナル名札」を使用することにより、マスコットキャラクターの地域での浸透を図ります。 ○「オリジナル名刺」「オリジナル名札」に記念ロゴを入れて区制50周年をPRします。	継続	通年	実施	・天白区マスコットキャラクター「かぼっち」を印刷したオリジナル名刺の使用について、4月の区政協力委員長会議で案内し、区政協力委員長等の地域の役員の方で希望される方に名刺を提供するとともに、区職員が使用 ・317シート使用（区職員分） ・157シート使用（地域役員分） （1シート＝10枚）
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-4 天白区の PR活動	市民課	天白区のPR活 動の推進	・人生の節目となる出来事が印象深いものとなるよう、「かぼっち」等をデザインした「オリジナル婚姻届」及び「オリジナル出生届」を作成します。 ・婚姻届の提出などを思い出として残せるよう、記念撮影ができるスポットとして区役所1階に「かぼっち」等をデザインした「メモリアルボード」を設置します。	継続	通年	実施	区役所1階にメモリアルボードを設置

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-4 天白区 のPR活動	地域力推 進課（企 画G）	天白区のPR活 動の推進	○天白区制50周年を記念し、かぼっちを使用したロゴマークとキャッチフレーズを作成し、イベントや啓発、案内等の様々な機会に区のPRのために活用するとともに、多様な記念グッズを作成し、行事参加者や区事業への協力者に記念品等として贈ります。 ・区民まつりをはじめとした、各種交通安全・防犯キャンペーンなどのイベントに「かぼっち」が参加します。 ・運動会、夏まつり、かぼっちミーティング等の地域行事などの取り組みに対して、かぼっち着ぐるみの貸し出しを行います。 ・区役所2階の子育て応援コーナー「かぼっち広場」にスペースを設け、季節ごとに様々な衣装の「コスプレかぼっち」を展示します。	継続	通年	・区民アンケートにおける「かぼっち」の認知度：60%	・かぼっちを使用した天白区制50周年のロゴマークとキャッチフレーズを作成し、各種記念事業のポスター、リーフレットやチラシなど区のPRのために活用するとともに、かぼっちを使用したピンバッジ、シール、ボールペン、キーホルダー、しおりなどの記念グッズを作成し、行事参加者や区事業への協力者に記念品等として配布 ・実施 ・着ぐるみを貸出（計45回） ・実施 ・区民アンケートにおける「かぼっち」の認知度57.7%
7天白区 の魅力を 発信しま す。	7-4 天白区 のPR活動	企画経理 課	”ホッとす るまち「好 きだよ、 天白。」” 発信事業	・区のPRだけでなく、区への愛着を深めてもらうため、区のキャッチフレーズ、かぼっち、写真を用いた名刺を作成・配布します。 ○名刺に記念ロゴを入れて区制50周年をPRします。	拡充	通年	実施	・天白区マスコットキャラクター「かぼっち」を印刷したオリジナル名刺の使用について、4月の区政協力委員長会議で案内し、区政協力委員長等の地域の役員の方で希望される方に名刺を提供するとともに、区職員が使用 ・317シート使用（区職員分） ・157シート使用（地域役員分） （1シート＝10枚）

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8－1 環境美化 の推進	地域力推 進課（推 進G）	町を美しくする 運動の実施	・「環境デーなごや2024」の地域行事として、地域住民・企業・学生ボランティア総ぐるみで、学区において「天白区クリーンウオーキング」を開催します。開催にあたっては、楽しみながら参加できるよう工夫します。 ・「空地进行をきれいにする運動」を展開し、学区による空地の実態調査に基づき、雑草や汚れが目立つ空地の所有者等に対して清掃依頼を行います。 ・天白川等の清掃を行う地域団体の活動を支援します。	継続	通年	年1回 17学区 で実施 実施	・「天白区クリーンウオーキング」実施 ・「空地进行をきれいにする運動」実施 - 学区からの報告 65筆、 地権者へ文書送付延71筆実施 - 各種実践活動・啓発活動を実施 ・天白川等の清掃を行う地域団体の活動支援を実施
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8－1 環境美化 の推進	地域力推 進課（推 進G）	学区開催の町を 美しくする運動 への支援	・各学区にボランティア袋を配布し「地域一斉清掃」の実施を呼びかけ、環境事業所や土木事務所と連携して、公道のごみや側溝の土砂等の回収の調整を行います。 ・学区クリーンキャンペーン、学区ノーボイ運動、放置自転車などをなくす運動など学区が実施する町美運動が円滑に実施できるように支援します。	継続	通年	17学区 で実施 実施	・「地域一斉清掃」を実施（17学区） ・各種実践活動・啓発活動を実施
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8－1 環境美化 の推進	健康安全 課	ペットのマナー 良し隊キャン ペーンの実施	・地域において、フン放置防止等、飼主に対して適正飼養の啓発を行っている保健環境委員会と協働し、キャンペーンを行います。	継続	通年	実施	・キャンペーンを5か所で実施し、保健環境委員等延べ32名と協働して、犬の飼い主に対し、啓発資材を延べ151セット配布

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8-1 環境美化 の推進	健康安全 課	猫の飼主への啓 発	猫の「完全室内飼養」と「所有者明示」を推進するために、避妊去勢手術補助券、マイクロチップ装着補助券の発行時に啓発します。	継続	随時	実施	飼い猫の避妊去勢手術補助券及びマイクロチップ装着補助券を120件交付し、その際に完全室内飼育と所有者明示の啓発を実施
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8-1 環境美化 の推進	健康安全 課	犬猫の迷惑防止 対策	- 広報なごや等を活用し、犬猫の適切な飼養について啓発を行います。 - 犬猫のフン尿や鳴き声等に困っている方に対し、地域等の状況に応じて、啓発用ステッカー、看板等の提供、猫の忌避装置の貸出しを行います。 - 犬のフンでお困りの方に、イエローチョーク作戦(※)を紹介し、その取り組みを支援します。 - のら猫の避妊去勢手術券を交付し、TNR活動(※)を支援します。 - 地域猫活動(※)を希望される方に、相談窓口である「名古屋市人とペットの共生サポートセンター」を紹介します。 ※イエローチョーク作戦：放置された犬のフンの周りを黄色のチョークで囲み、日時を書くことによって、放置した飼い主に、困っている人や迷惑をこうむっている人がいることを伝える方法。 ※TNR活動：のら猫を捕獲(Trap)し、避妊去勢手術を実施(Neuter)した後に元の場所に戻す(Return)活動。のら猫の頭数を抑制する人道的な方法として国内で広く行われているもの。 ※地域猫活動：TNR活動に加え、その猫が寿命を全うするまで周辺住民の十分な理解の下に、適切なエサやりやフン尿の片づけなどを行う活動。	継続	随時	実施	- 犬のフン害防止の啓発ステッカー・看板等を24件104枚提供 - のら猫の苦情に対して、忌避装置を10件貸し出し - 犬のフン害防止のイエローチョーク作戦を2件支援 - のら猫の避妊去勢手術券を245件交付 - TNR活動に使用する保護器を42件貸し出し - 広報なごや4月号、6月号及び1月号に犬猫の適切な飼育等について掲載

ビジョン の施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続 の別	実施時期	R6目標	R6実績 (3月末時点)
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8－1 環境美化 の推進	地域力推 進課（推 進G）	空家の適切な管 理についての啓 発	・ 広報なごや等で空家の適切な管理の方法に ついて啓発を行います。	継続	通年	広報なご やに年1 回啓発記 事を掲載	・ 広報なごや区版で台風に備えた空家の適切な管理 に関する広報啓発を実施（8月号）
8 快適な 生活環境 づくりを 支援しま す。	8－1 環境美化 の推進	地域力推 進課（推 進G）	空家等対策の実 施	・ 適切な管理が行われていない空家等への対 策に関して、区内関係公所（署）によるプロ ジェクトチーム会議を通じて緊密な連携・協 力を図り、特に管理が不適切な状態にある空 家等（＝特定空家）の所有者に対して指導等 を実施します。	継続	通年	特定空家 対応の必 要に應じ て実施	・ 特定空家の案件がないため未開催